

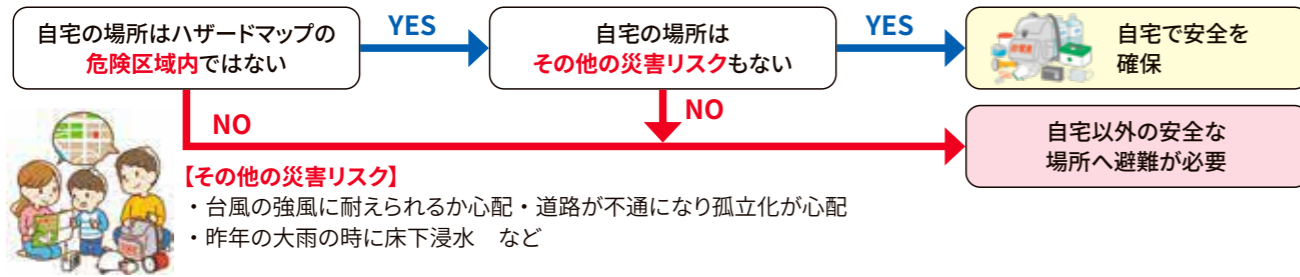
災害が来る前に決めておこう

自分の避難のタイミング(マイタイムライン)

被害が予想される災害に対して、いざという時、どのような行動をとればいいのか、あらかじめ決めておく自分の行動計画を『マイタイムライン』といいます。地震や大雨など災害ごとに、とるべき行動は異なります。台風や豪雨による風水害に備えた『避難のタイミング』について、次の3つのステップをもとに決めておきましょう。

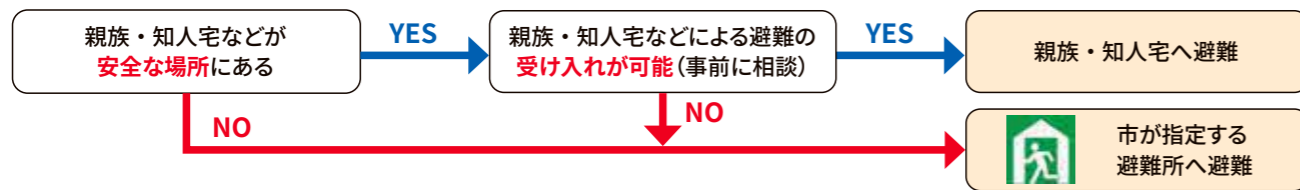
STEP 1 自宅の災害リスクをハザードマップで確認しましょう

自宅付近の災害リスクを確認しましょう。緊急時は自宅以外への「立退き避難」が基本ですが、安全な場所にいることが確認できれば、必ずしも指定避難所などへ移動しなくても構いません。



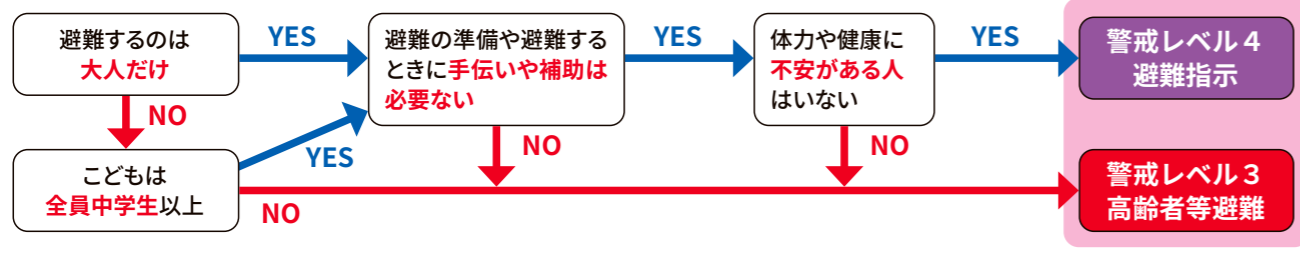
STEP 2 事前に避難先を決めておきましょう

自宅の場所が安全でない場合や地震などの災害にも備え、避難先を考えましょう。



STEP 3 誰といつ避難するのか、避難のタイミングを決めておきましょう

一緒に避難する人の避難にかかる時間を踏まえ、徒歩による避難を基本に考えましょう。 **避難開始**



災害から身を守るための日頃の備えとして、備蓄品の確保とともに『マイタイムライン』を作成しましょう。

こちらをご覧ください

市ハザードマップ(Web版)



自宅付近の災害リスク(土砂災害、浸水想定区域)や避難所が確認できます。

市避難所一覧



避難所の開設状況は市防災サイトまたは、市防災メール、市公式LINEなどで発信します。

マイタイムラインの作成要領



マイタイムラインに関するガイドブック、作成フォームはこちらをご覧ください。災害ごとに内容が異なります。

●問い合わせ先 安全安心課 ☎096-248-1555

熊本県消防協会の最高栄誉賞『特別表彰まとい』を受賞

歴代団員が積み重ねた功績が実を結ぶ

5月12日(火)、ホテル熊本テルサで行なわれた県消防団長会議で、市消防団が設立から現在に至るまで、歴代の団員一人ひとりが積み重ねてきた功績が評価され『特別表彰まとい』を受賞しました。

この賞は、毎年、県内45市町村の消防団の中から厳しい条件を満たした1団体に授与される極めて名誉あるものです。条件には、『日本消防協会表彰旗』と『消防庁長官旗』の受賞歴に加え、過去の県消防操法大会で3位以内に入賞していることが含まれます。

全国的な団員減少の中、改革推進で快挙を実現

市消防団では、機能別消防団の導入や女性消防団員の加入・活躍により3年連続で団員が増加しています。さらに、災害に特化した訓練の実施や、地域密着型の防火広報、団員の処遇改善などの改革を推進してきました。こうした取り組みが評価され、令和6年度の総務大臣表彰、令和7年度の消防庁長官表彰の受賞に続く快挙となりました。



全15分団から精鋭15チームが出場 第10回市操法大会

5月31日(日)、選手たちは地域の皆さんや家族からの応援を受けながら、迅速で確実な機械操作を行ない、火に見立てた火点的を倒す速さを競いました。

優勝した林田健太郎団員は「練習の成果を発揮できてよかったです。今後の消防活動に生かし、これからも消防団として地域の皆さんに安心を届けたいです」と話しました。

操法大会成績

| 順位 | 分団 |
|-----|-----------------------|
| 優勝 | 本部機動隊(市役所) |
| 準優勝 | 第1分団(出分、上古閑、御領、野付) |
| 第3位 | 第13分団(須屋、上須屋、堀川) |
| 第4位 | 第3分団(幾久富) |
| 第5位 | 第12分団(新開、黒石、黒石団地、木原野) |



合志市消防団X